



# 日本家族看護学会 第29回学術集会

The 29th Annual Conference of Japanese Association for Research in Family Nursing

## 家族のものを語りを紡ぐ

～現場発信の家族看護～



2022年9月10日[土]・11日[日]

学術集会長 濱田 裕子 第一薬科大学看護学部教授

### 会長講演

「家族のものを語りを紡ぐ」

濱田 裕子 第一薬科大学看護学部教授

### 特別講演

「あいまいな喪失と家族支援」

石井 千賀子 石井家族療法研究室

「家族の“はじまり”を支える ～NICUの現場から～」

豊島 勝昭 神奈川県立こども医療センター新生児科部長

### 教育講演

「ビジュアル・ナラティブと支援」

やまだ ようこ

京都大学名誉教授、立命館大学上席研究員、もの語り心理学研究所長

「家族看護実践力を高める

—家族看護エンパワーメントモデルの活用—」

中野 綾美 高知県立大学看護学部教授

### 市民公開講座

「あなたは子どもに何を遺せますか」 安武 信吾

### 会場

一般財団法人 福岡コンベンションセンター

## 福岡国際会議場

福岡県福岡市博多区石城町 2-1

### 各種申込

演題募集期間

5月9日(月) 正午まで延長しました

2022年2月7日[月]～4月28日[木] 正午

事前参加登録期間

2022年4月1日[金]～7月31日[日]

### 大会参加費

	事前参加	当日参加
会員	9,000円	10,000円
非会員	10,000円	11,000円
学生(院生を除く)	1,000円	2,000円

\*状況によりWEB等開催方法が変更になる場合があります。

シンポジウム

交流集会

一般演題分科会

よろず相談

など

学術集会事務局

学校法人 都築学園 第一薬科大学看護学部

〒815-0037 福岡県福岡市南区玉川町 14 番

TEL:092-559-7331 (代表) 担当: 小山記代子・野田優子

E-mail: jarfn29th@daiichi-cps.ac.jp

運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

〒810-0072 福岡市中央区長浜 1-1-35-4F

TEL:092-751-3244

E-mail: jarfn29@jtbcom.co.jp

日本家族看護学会 第29回

学術集会 URL

<https://www.jarfn29.org>



助成: 公益財団法人 セコム科学技術振興財団  
公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団



# 日本家族看護学会 第29回学術集会

The 29th Annual Conference of Japanese Association for Research in Family Nursing

## 家族のものを語りを紡ぐ

～現場発信の家族看護～

2022年9月10日[土]・11日[日]

会場 一般財団法人 福岡コンベンションセンター 福岡国際会議場

### 会長講演

#### 家族のものを語りを紡ぐ

濱田 裕子 はまだ ゆうこ 第一薬科大学看護学部教授



看護師・保健師活動を経て看護教育に携わる。専門は小児看護学・家族看護学。NPO法人福岡子どもホスピスプロジェクトを立ち上げ、病気や障がいがあっても豊かに暮らせる社会をめざし、子どもホスピスを創るための活動もしている。これまでの実践・教育・研究で出会った家族のものを語りを辿りながら、伴走者となることについて考えてみたい。

### 特別講演

#### あいまいな喪失と家族支援

石井 千賀子 いしい ちかこ 石井家族療法研究室



さまざまな喪失や死別に向き合う人々への支援として、家族療法による臨床と教育に携わる。特にこの10年、Bossによる「あいまいな喪失」理論と介入方法の普及に努める。濃い霧に包まれたように先が見えないなかで、家族がもつレジリエンスの糸口を探り出す支援について一緒に考えてみたい。

#### 家族の“はじまり”を支える ～NICUの現場から～

豊島 勝昭 とよしま かつあき

神奈川県立子ども医療センター新生児科部長 / 周産期センター長



24時間 365日体制のNICUでスタッフと共に新生児の救命救急医療に取り組む。元プロ野球選手の村田修一氏とNICUサポートプロジェクトを発足、社会に新生児医療の現状を伝える活動を継続。小中高校で69回の「NICU 命の授業」を行う。「神奈川県いのちの授業大賞」第1回優秀賞、第2回審査員特別賞を受賞。2015年、2017年に放送された周産期医療を題材としたドラマ『コウノドリ』では医療監修を担当した。

### 教育講演

#### ビジュアル・ナラティブと支援

やまだ ようこ 京都大学名誉教授、立命館大学上席研究員、もの語り心理学研究所長



日本質的心理学会理事。教育学博士。専門はナラティブ心理学、生涯発達心理学。ビジュアル・ナラティブ(視覚イメージによるもの語り)を用いて、患者さんや家族との関係づくりや共感的コミュニケーションを支援する方法を考えてみたいと思います。

#### 家族看護実践力を高める

#### — 家族看護エンパワーメントモデルの活用 —

中野 綾美 なかの あやみ 高知県立大学看護学部教授



日本家族看護学会理事(教育促進委員会委員長)。専門は小児看護学・家族看護学。多様化する家族を独自の存在としてとらえ、その家族のもつ力を見極め、力の発揮を支える家族支援について、家族看護エンパワーメントモデルの基本的な考え方や、実践・教育・研究への活用を通して考えてみたいと思います。

### 市民公開講座

#### あなたは子どもに何を遺せますか

安武 信吾 やすたけ しんご



福岡県生まれ。新聞記者、書籍編集者等を経て、現在は映画プロデューサー兼監督。著書にがん闘病中の妻と幼い娘との暮らしを綴った「はなちゃんのみぞ汁」(文藝春秋)。妻は25歳で乳がんを患い、結婚、出産を経て、2008年に33歳で世界。闘病中幼い娘にみぞ汁づくりを教えました。余命を覚悟した妻が娘に伝えたかったことは何だったのか。2001年に香川県で始まった「弁当の日」を紹介しながら、妻亡き後、娘と暮らした13年間を振り返ります。

### シンポジウム

#### シンポジウムI 家族看護の現場からの発信 ～実践と課題～

#### シンポジウムII 家族の語りから学ぶ

#### 学術集会事務局

学校法人 都築学園  
第一薬科大学 看護学部  
〒815-0037 福岡県福岡市南区玉川町 14 番  
TEL:092-559-7331 (代表)  
担当: 小山記代子・野田優子  
E-mail: jarfn29th@daiichi-cps.ac.jp

#### 運営事務局

株式会社  
JTB コミュニケーションデザイン  
〒810-0072 福岡市中央区長浜 1-1-35-4F  
TEL:092-751-3244  
E-mail: jarfn29@jtbcom.co.jp

#### 大会参加費

	事前参加	当日参加
会員	9,000円	10,000円
非会員	10,000円	11,000円
学生(院生を除く)	1,000円	2,000円

\* 状況によりWEB等開催方法が変更になる場合があります。